

発行/鈴鹿市ボランティア連絡協議会  
〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町 383-1  
TEL059-382-5971FAX059-382-7330

企画・編集/The ぼらんていーあ編集部

目次

- ◇ボラティア活動の取組・他写真・動画
- ◇紹介誌修正・完成挨拶・防災コラム
- ◇研修・広報・防災部会報告
- ◇活動報告・「集い」・編集後記

### ★ ボランティア活動の取組

鈴鹿市ボランティア連絡協議会会長 戸口孔二

日頃は、「鈴鹿市ボランティア連絡協議会」の活動にご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。

現在は、団体が丁度 100 と個人が 161 人登録してボランティア活動を行っています。

令和 5 年は、新型コロナウイルスも 4 年目を迎え、私達の活動も感染対策を行いながら徐々に従来の活動に戻りつつあります。1 月 30 日には神戸龍光寺の元住職：衣斐弘行講師に依頼して「ボランティアのこころ」で研修会を開催させて頂きました。

また、令和 4 年度は役員改選の新体制で以下 4 件の取り組みを行わせて頂きました。

1. コロナ禍の会議の在り方としてWEB会議や効率的な進め方の改善を行っています。会議は事業を進めるために以下の 4 種類があります。

- ①専門部会 ②役員会 ③運営委員会 ④その他関係会議の参加

2. 「団体紹介誌」の作成

令和 3 年度に着手した「団体紹介誌」が令和 4 年 11 月に完成しました。鈴鹿のボラ連登録の仲間がどのような取り組みをしているかが分かると共に、ボランティアの仲間づくりに繋げて行きたいと思えます。ボランティア活動の活発化に向けてご活用ください。



3. 「第 28 回ボランティアの集い」の開催

ボランティアの交流や研修を目的に開催してきた「ボランティアの集い」3 年ぶりに皆様のご協力を頂き開催させて頂きました。ご協力を頂き大変ありがとうございました。

4. 令和 5 年は、「情報バンク」の立上げを進めています。

私達ボランティアの日頃の取組みを活かして「南海トラフ地震」など災害時や平常時に日頃の取組で福祉活動や被災者に支援できる仕組みを考えています。実施に向けて多くの課題があると思えますが皆様のご協力を頂き進めて行きたいと思っています。



動画・音楽  
コーナー

鈴鹿市ボランティ  
の集い

介護アロマ三重サークル鈴鹿

救援募金 (14,610 円)



ウミガメネット  
ワーク三重

尺八

白百合

白子マジック  
サークル



☆ 鈴鹿市ボランティア団体紹介誌の修正

No	ページ	団体名	訂正箇所	誤	正
7	11	ドリーム	開催場所	鈴鹿市社会福祉センター	労働福祉会館
9	12	SS ピンポンみつばち	設立年月日	1991年5月11日	2021年5月11日
32	23	たんぽぽハーモニー	募集	なし	あり
38	26	ウミガメネットワーク三重	設立年月日	1962年5月11日	2014年1月15日
53	35	おもちゃ図書館「りんりん」	会費 開催場所 日程  募集		会費無し、場所：鈴鹿市第1療育センター 日程：毎年3月下旬反省会(その他不定期) 募集：随時募集
56	36	読みきかせボランティア	設立年月日	1962年5月11日	2005年7月

注) その他の修正は 鈴鹿市社会福祉協議会配信の団体紹介誌 WEB版に掲載します。

☆ 松阪市社会福祉協議会（嬉野支部）に  
鈴鹿市ボランティア団体紹介誌をお届けしました

3年前交流会の松阪市社会福祉協議会：嬉野支部に担当の中西氏を訪ね、その折記念に頂いた「登録グループ紹介誌」を参考にして、鈴鹿市ボランティア連絡協議会が団体紹介誌を作成した事で、お礼と今回の紹介誌をお届けしました。



当時お世話になった、折り紙ボランティアと給食ボランティアグループは退会とのことでしたが、新規登録グループはご活躍とのことでした。(広報部 高本英人記)



防災コラムシリーズ第7回

# 地震 その時10のポイント



地震直後の行動

地震時の行動

## 地震だ！ まず身の安全

- ・揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

- 【高層階（概ね10階以上）での注意点】
- ・高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ・大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



### 落ちついて 火の元確認 初期消火

火を盛っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。  
・出火した時は、落ちついて消火する。



### あわてた行動 けがのもと

- ・壁内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



### 窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



### 門や欄には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック壁などには近寄らない。



### 火災や津波 確かな避難

・地域に大規模な火災の危険がせまらば、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所へ避難する。  
・沿岸部では、大きな揺れを感じたら、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所へ早く避難する。



### 正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



### 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



### 協力し合って 救出・救援

近隣家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救援する。



### 避難の前に 安全確認電気・ガス

避難が必要時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



地震後の行動

出典先 東京消防庁  
[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/bou\\_topic/jisin/point10.htm](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/bou_topic/jisin/point10.htm)

## ◎ 「七福神に学ぶボランティアのこころ」に参加して

コロナの前は、毎年、先進地視察研修会として社協のバスをお借りして、県内はじめ愛知、岐阜まで出かけて学んできましたが、今回は社協の2階大会議室に、講師として臨済宗東福寺派大泉寺（京都）の住職である衣斐弘行氏をお招きして、「七福神に学ぶボランティアのこころ」という演題で講演を頂きました。13の団体及び個人の総数32名が参加しました。

七福神は中国、インド、日本出身の神様で、一つの船に乗っておられ、皆様異形の姿をしておられますがそれゆえに邪気を祓い福をもたらして頂くという信仰が室町時代より今日まで伝えられてきました。障がいのある方が苦を負って頂いているから自分が楽をさせて頂いているという感謝の心が日本の古来より息づいてきたのです。

「忘己利他」の遺伝子が人間には埋め込まれており、更には動物にもあるということを実話をあげて話されました。

「慈悲喜捨」は、まさにボランティアの4原則に合致するもので、これからも活動する時、常に「これでよかったのか？」と反省しながら歩みたいと心に誓いました。（研修部会 吉原勝範記）



～ひとりひとりが主人公

想いを届ける芸術祭～

（広報部会 藤田礼子記）

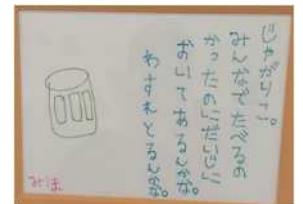
「あったかい、すごい、伝わったよ 想い」

昨年末の12/23・24に四日市市文化会館にて行われていた令和4年度三重県障がい者芸術文化祭作品展を觀賞。

絵画や工芸や俳句など500点以上の作品の中には、素晴らしい受賞作品がありましたが、私にはどれもこれも優劣つけ難いように思えました。

近い将来、健常者と障がい者の分け隔てなく【三重県芸術文化祭】として開催されること願っています。

1番お気に入り作品・・・『じゃがりこ。 みんなでたべるの かったのにだいじに おいてあるんかな。 わすれとるんかな。 』



## ◎ 「桜の森公園防災研修会」に参加して

昨年12月4日（日）に桜の森公園にて「学ぼう鈴鹿の防災」をテーマに防災視察研修会を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、3年ぶりの防災研修会となりましたが、お天気にも恵まれ23名のメンバーが参加されました。



同行をお願いした鈴鹿市防災危機管理課の方からの施設案内や防災講話を皆さん、真剣な表情で聞いておられました。

平素は親子連れやマラソン人で賑わう市民公園ですが、災害時にはマンホールトイレ・煮炊き用のかまど・仮設テントやヘリポートなど防災機能を備えた避難場所となります。長期滞在は出来ませんが、多くの方が一時的に避難できる貴重な空間かなと実感しました。

参加者から“こういった防災機能が各町内にあればいいね”という声があり、暮らしと防災が一步近づいたかなという印象を持ちました。（防災部会 藤井末邦記）

# ♡ ボランティア活動紹介 ♡ 白子高等学校文化教養（吹奏楽）コース ♡

伝統ある白子高校吹奏楽部をベースに約20年前に設立されました。授業において、吹奏楽、室内楽、音楽理論などの音楽の専門科目に取り組んでいます。昨年度の人事異動でスタッフが入れ替わり、これまでの吹奏楽コース、吹奏楽部の活動を精査していく中で、課題として、①吹奏楽コースの成果発表の場の充実。②地域の方々との関わりについて、これまで以上に身近に音楽を聴いていただく。を挙げました。

そして、本年度より授業の実習として、3回、白子地区の皆様へ音楽を届けることが出来ました。参加した生徒にとってお客様との距離が近く、演奏に対する反応がわかりやすく、音楽をする上で重要な、演奏者と観客の関係性をより実感することが出来、貴重な実習の機会となっています。授業中に行うため、学校周辺でしか実施できませんが、今後も継続して活動を続けていきたいと考えています。



## 令和4年度 第28回「鈴鹿市ボランティアの集い」開催しました！！

みんなで笑顔になろう ～コロナ禍でのボランティア活動～  
2月26日（日）コロナ禍で3年ぶりに100名の来場をいただき、「集い」を開催しました。中止の間も練習を重ねていた披露・上演・演技ボランティアの皆様へ活動の一環を披露していただき、「集い」開催の主旨「ボランティア間の相互交流・情報交換」を通し、顔の見える関係づくりに努め、会場からのアンコールに応じて和やかに演者と会場が一体となり、無事第29回へとバトンタッチできたのではと思います。

なお、当日会場ではトルコ・シリア大地震救援金も集まりました。 (運営委員一同)

ハピレレ      モニカ♪モニカ      太陽の会      ハーモニカ・奏      たんぽぽハーモニー



### 編集後記

会場がパツと明るくなり、仲間の笑顔があちら、こちらで輝いていました。コロナ禍で久しぶりに開催できた、鈴鹿市手話サークルとちの実3グループの交流会です。みんなが楽しそうに手話を繰り出している様子、これは手話サークルならではの光景です。性別も年齢も地域も職業も関係なく、この場では手話という言葉を通じて絆を深めています。楽しい反面、この光景が私の地域にも、あなたの職場にも広がったら嬉しいなあと思います。最近メディアで手話を取り上げられる機会が増え、サークル入会の問い合わせも増えました。1人でも多くの方が手話を通して、聞こえない人たちやその暮らしにも関心を持って頂けるように学習の内容も工夫しています。

まずは、『つながる！ひろがる！鈴鹿のふくし ～ボランティア～』で動画に  
参加した手話サークルの様子をぜひご覧ください。

当日取材していただいた撮影班、社協の担当のみなさんにも御礼申し上げます。  
ありがとうございました。

(鈴鹿市手話サークルとちの実 岡野美也子)

